

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和4 年 3月 1日

事業所名

姫島みつばち

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	0	訓練指導室は46.5㎡あり国の設備基準である児童3.0㎡/1人を活動できる様確保している。又、集団活動、個別療育の場も確保できている。	
	2	職員の配置数は適切である	7	1	10人/1日の職員体制児童指導員2人、指導員2人配置し療育しています。言語聴覚士、専門的スタッフを配置を考えている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8	0	施設は4階建て1階部分で施設前まで車を付け施設内にはいれます。室内バリアフリーになっており、トイレも車いす対応になっております。又玄関のドアは2重にしており、安全確保に務めております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8	0	毎朝、業務終了後清掃を行っています。トイレ使用後清掃、消毒をし、新型コロナウイルス感染予防に対しても、安心して過ごせる為に、月に一度、銀イオン施工の消毒を業者に依頼しています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	2	日々職員ミーティングを欠かさず行っております。休んでいる職員にも日々の様子を共有し周知しています。子供達の療育での相違がある時はその都度ミーティングを行い改善している。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0	利用者の評価表による評価、意向を把握し改善につとめていきます。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0	令和4年度ホームページに公表いたします。自己評価表を保護者様へ配布していますが内容的に理解しにくいとの指摘があり自己評価表を元に聞き取りなどをし、今後事業所の改善にあたりたい。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	3	利用者様と施設職員との評価となっております。現在区役所主催の放課後等デイサービス部会、子供部会の参加をしていますので、今後評価頂き改善につとめます。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	毎月研修に参加しています。又、社内研修を行い療育に繋げております。児童発達支援・放課後等デイサービスに特価している業者と契約しているので職員の質を高めていく。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	0	利用者から問合せの際、聞き取りを行い見学体験と繋げております。見学、体験時保護者様と面談を行い、ニーズを把握したり、行動観察を記録し個別支援計画(案)を作成、スタッフでの会議を開催し、個別支援計画を作成。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	0	外部での発達検査の結果等を参考にアセスメントを作成。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8	0	児童発達支援ガイドラインに則した支援計画をたてている。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	0	個別支援計画に沿った支援を職員全員心がけている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	日々、課題内容、指導方法をミーティングで話し合い、職員共通の目標を持ち取り組んでおります。支援について相違があれば修正しながら支援を行っている。支援のデモンストレーションを行い、職員の役割サポートに努めています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	週変わりで全体プログラムは設定しております。又、内容は年齢、発達に合わせて支援しています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8	0	発達に応じ、個別、集団課題に取り組んでおります。できることを伸ばし社会性の課題の支援にいられております。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	毎朝、ミーティング、振り返りを行い、利用者のプログラムを作成、役割分担、支援方法と想定表を作成。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	0	利用終了後、個人記録を記入しミーティングを行い、反省点、次の支援につなげます。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	個人記録を基にミーティングを行い、次の支援、改善につなげている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8	0	6ヶ月に1回見直しをしております。	
関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0	毎月、事業所定例会、子供部会は適任者が参加しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8	0	保険相談所、保育所、幼稚園と連携を取りあっている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	8	0	現在の所、医療的ケア、重症心身障がいの利用者はいませんが、相談支援員、保護者様と連携を取合い、支援をおこなっている。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	0	現在の所、医療的ケア、重症心身障がいの利用者はいません。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	0	保育所、幼稚園、支援員との連携は密にとりあっている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	0	保護者様と連携を取り合い就学支援シートを活用し情報提供をおこなっています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	4	職員全員研修は受けていません。今後研修をうけます。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	8	開所し1年満たないので交流活動実績はございません。利用のお子さんのほとんどが保育所、幼稚園に通っていますので、今後交流の機会を作りたい。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	8	0	西淀川区役所と連携を取り、積極的に参加しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	職員全員が子供の事を把握し、子供の様子、課題については共通理解を持ってもらっている。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	4	ペアレントトレーニングの研修参加予定しております。家庭との連携は密に取り合い、家庭での対応等も支援おこなっています。		
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0	契約時丁寧に説明させていただいております。不明な点があれば随時職員が説明しております。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8	0	契約時個別支援計画に基づき説明させていただいております。又半年を目安にモニタリングを行い支援内容を把握して頂き、同意をえています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0		利用者全員とはいえませんが、毎日の様に電話相談、をうけております。又定期的に訪問し相談時間をもうけております。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8	0		保護者参加型のイベント等で保護者とのコミュニケーションを図っている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0		相談や申し入れがあった場合、電話や面談にて迅速かつ適切に対応してまいります。又出勤時間を調整し、保護者対応にあたらせています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	0		定期に会報は発行していませんが、毎日の連絡帳での連絡体制はとっています。情報発信は@ラインで随時発信しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8	0		個人情報は鍵付き書棚に保管しております。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0		視覚的教材を使用したり、ホワイトボードなどを利用し、伝達の配慮をしている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8	0		地域のイベントに参加したり、自治会との連携をとっている。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8	0		マニュアルについて職員会議にて対応方法等の確認を行ったり、保護者にも説明をしていますが、周知・徹底について十分ではない部分もあるため、改善に努めます。マニュアルについても必要に応じて見直ししていきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0		緊急時の避難訓練をしました。訓練実施報告の周知や児童・保護者を含めた訓練が課題です。職員ミーティングの際、避難訓練を行ったり、防災に関する外部研修がある際には参加したい。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	8	0		保護者記入の健康状況票によりはあくしています。また必要に応じて聞き取りを行っている。児童の健康上の配慮店・注意点について、職員一人ひとりが意識できるよう確認と周知を行っている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	0		食事提供はないが、おやつ提供は行っている。アレルギー対象児おやつ持参していただいています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0		危険な事例があった場合、報告書に記載し、ミーティングを通して職員で共有している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0		職員ミーティングにて社内研修をおこなう。外部研修にも参加していきたい。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	8	0		身体拘束に関しては、利用者本人の生命や身体を保護するため緊急を要する場合に、切迫性・非代替性・一時性であることを条件に行うことを職員の共通認識とし、行った場合は記録に残すことになっている。保護者にはそれらを契約書に記載し説明している。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。